

(5) 地域に根ざした包括的な保存・管理を進めるために、組織及び運営体制の整備を行う。

二見浦は、年間約 250 万人の観光客（平成 20 年）が訪れる観光地である。また、名勝の指定地に連続する二見町江、茶屋、荘の 3 地区には約 900 世帯、約 2,500 人（平成 21 年 12 月末）が生活し、旅館業を始め各種の生業を営んでいる。

また、海浜の保存・管理については、所有者である二見興玉神社や公園管理者である伊勢市、地域住民等により清掃等の荒廃防止のための維持・管理作業が行われており、日常的に利用されている。

このため、適切な保存管理と整備活用を進めるために、地域住民と最も身近に接する伊勢市における組織体制及び運営体制を整備し、三重県、文化庁及び関連諸機関との連携体制を強化する。

第 2 節 策定組織

文化財保護法の趣旨に基づき、名勝二見浦の適切な保存及び管理を行うことを目的とする保存管理計画を策定するため、「名勝二見浦保存管理計画策定委員会」を設置した。

1 策定委員会の構成

名勝二見浦保存管理計画策定委員会設置要綱第 3 条の規定による委員会の構成は、次のとおりである（平成 19 年（2007）5 月 28 日、設置要綱施行時点）。

職名	氏名	所属等	専門分野
委員長	菅原 洋一	三重大学教授／三重県文化財保護審査会委員	建造物
副委員長	浜口 圭一	伊勢市文化財保護審議会会長	歴史
委員	丸山 宏	名城大学教授	景観
委員	相澤 泰造	三重県建設技術センター技術部技術専門官	応用地質学
委員	本田 裕	三重大学教授／三重県文化財保護審議会委員	地質学（地質鉱物）
委員	伊藤進一郎	三重大学教授／三重県文化財保護審議会委員	植物
委員	稲垣 年	二見興玉神社禰宜	—
委員	堀川 宗晴	神宮司廳文化部長／神宮禰宜	—
委員	木下 昌次	伊勢市観光協会の推薦を得た代表者	—
委員	濱千代利弘	伊勢湾漁業協同組合の推薦を得た代表者	—
委員	角谷 泰弘	自営業	市民（二見町）
アドバイザー	本中 眞	文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官	名勝

また、同設置要綱第 7 条の規定による協力者連絡会の構成は、次のとおりである（平成 19 年（2007）5 月 28 日、設置要綱施行時点）。